

## 令和3年度高松市伝統的ものづくり振興事業決算報告

【決算額 8,270,450 円】

1 伝統的ものづくり振興審議会開催経費 【事業費 91,000 円】

令和3年度 開催実績3回 (7/7、9/10~9/24 書面開催、2/25)

2 伝統的ものづくり夏休み親子体験教室 【事業費 70,000 円】

&lt;普及啓発&gt;

広報高松7月号、市ホームページ、Instagram等のSNSで情報発信し、5コースを実施した。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、1コースを中止とした。総定員166組のところ応募244組、参加81組となった。

	内容	実施日	場所	参加者
①	保多織でコサージュを作ろう	7月29日(木)	こども未来館	27組
②	松を知ろう!黒松の苔玉づくり	7月30日(金)		29組
③	讃岐かがり手まり「まきまき」	8月3日(火)	IKODE 瓦町	29組
④	組手障子でミニフォトスタンドづくり	8月4日(水)	こども未来館	29組
⑤	讃岐のり染 藍染めハンカチづくり	8月6日(金)	四番丁スクエア	16組
⑥	菓子木型で和三盆干菓子を作ろう	新型コロナウイルス感染拡大のため中止		
合計				81組



3 伝統的ものづくり学校巡回教室

【事業費 635,593 円】

＜普及啓発＞

高松市内の小中学校に希望調査をとり、希望のあった学校に、香川漆器・庵治石・盆栽の3つの分野の職人の方のお話を聞いたり、作業の様子や作品を実際に見てもらったり、簡単な体験をしてもらう内容で実施した。

	小中学校・学年等	参加人数
①	庵治中学校・2年生	26名
②	屋島東小学校・4年生	21名
③	亀阜小学校・6年生	100名
	3校	147名



4 伝統的ものづくり産業発展事業補助金 【事業費 5,581,000 円(内、県補助 3,720,000 円)】

＜人づくりの推進/事業環境の整備/普及啓発/販路開拓/事業者等に対する支援＞

本市の伝統的ものづくり産業（漆器・石材）の産地組合（事業協同組合）が実施する、伝統的ものづくりの振興に寄与する、プロモーション・販路開拓事業や、技術・技法伝承事業に対し補助金を交付した。

1品目当たりの上限金額を3,000千円とし、事業費全体の内、組合が2/5市が3/5以内を負担した。また、市が負担した補助金額の2/3以内を県が負担した。

品目	産地組合	事業名	事業実績	交付金額
漆器	香川県漆器工業協同組合	プロモーション・販路開拓事業 技術・技法伝承事業	全国漆器展への出店及び県内での展示会（新作見本市、工芸まつり、香川漆器ぬり・もの・がたり、漆器まつり）を開催し、展示販売を行った。 若手技術者へ木地作りの技術・技法伝承として、1週間に1度、計28回指導を行った。全工程の取得には継続した指導が必要である。	2,828千円 (内、県:1,885千円)

石材	讃岐石材加工協同組合	プロモーション・販路開拓事業	「石＝墓石」を払拭し「石」の多様性をPRできるリーフレットを作成した。また、組合HPへのQRコードを掲載したメモパッドを作成した。昨年度WEB広告事業で得られた情報を活用して商品を開発、ネット販売サイトを新設し出品している。	1,500千円 (内、県:1,000千円)
	協同組合庵治石振興会	プロモーション・販路開拓事業	庵治石ポスターを作成し、ストーンフェア2018に来場した全国の石材事業者配布した。ポスターに掲載した墓石の製造事業者を尋ねる問い合わせなどが入っている。	309千円 (内、県:206千円)
	庵治石開発協同組合	プロモーション・販路開拓事業	東京ビッグサイトで開催されたふるさと建材・家具見本市に出展し、石材加工技術を活かした建築材として庵治石を周知した。住宅メーカーや建材会社などから問い合わせが入っている。	944千円 (内、県:629千円)

5 伝統的ものづくり振興事業補助金 【事業費 950,000円】

<人づくりの推進/事業環境の整備/普及啓発/販路開拓/事業者等に対する支援>

高松市の伝統的ものづくりの技術や素材を活用し、伝統的ものづくり事業者及び関係団体等が取り組む販路開拓や担い手育成、ブランド力向上に係る事業に対し、費用の一部(上限額50万円、補助額は総事業費の1/2以内)を補助することにより、自主的な活動の促進や事業者の事業環境の整備を図り、伝統的ものづくりの振興に繋げることを目的としている。

令和3年4月30日(金)～6月4日(金)の間、事業計画を募集した結果、3事業者(販路開拓、1事業者、ブランド力向上2事業者)の応募があり、審査の結果、以下のとおり2事業者を採択した。予算残があるため、令和3年7月14日(水)～7月30日(金)の間、追加募集を行ったが、応募は無かった。

事業区分	事業名	申請事業者
ブランド力向上	昔ながらの伝統技術を駆使した庵治石製品の新たな可能性を切り拓く(高松伝統工芸・組手障子との商品開発)	石屋TATA 太田 眞介
ブランド力向上	情緒的高付加価値製品開発「庵治石ラブレター」を通じた、石材加工業の社会的価値を高める事業(たぶん、加工。プロジェクト)	石栄会

※第2回審議会にて、成果発表を行う予定。



石屋TATA 石あかり



石栄会 庵治石ラブレター作成動画

6 たかまつ工芸ウィーク開催事業負担金 【事業費 942,857円】

<普及啓発/販路開拓>

【概要】 高松のサイト（店舗や施設）同士がつながりあい、工芸に特化した週間をつくりあげ、高松を工芸の発信地として広く内外にアピールすることを目的として開催した。

【期間】 令和3年10月7日（木）～11月7日（日） 32日間

【主催】 たかまつ工芸ウィーク実行委員会

（高松市、高松商工会議所、高松市牟礼庵治商工会、香川県漆器工業協同組合、かがわ物産館「栗林庵」、一般社団法人讃岐ライフスタイル研究所、株式会社 tao.、有限会社ドリームネットワークアクティビティ、さぬきうるし Sinra、株式会社蒼島、有限会社島本石材工業、花澤明春園、讃岐漆芸美術館、紺屋町コトマス、有限会社 INAKA TOURISM）

【事業内容】

①キックオフイベントの実施

開催日：10月7日（木）①14：00～16：30 ②18：00～20：30 （2部制、各2、3時間程度）

開催場所：穴吹邸（高松市城東町1-7-15）

参加者：インフルエンサー（学生・メディアそれぞれ10人程度）を無料招待

内容：展示・・・ゲストハウス（穴吹邸）を高松の工芸で埋め尽くす。（香川漆器・庵治石・盆栽・庵治ガラス・讃岐のり染・讃岐かがり手まり・保多織・菓子木型・組手障子）  
実演・・・香川漆器：お箸の塗り、絵付け（中田漆木）

盆栽×庵治石：庵治石に松を植えつける（花澤明春園・島本石材工業）

ワークショップ・・・

石付き盆栽の作成（1時間程度）（花澤明春園） 10人

讃岐かがり手まり「まきまき」（30分程度）（讃岐かがり手まり保存会） 12人

庵治石サウナ（10分程度）（穴吹邸・島本石材工業） 自由参加

②SNS（Instagram）運用 [https://www.instagram.com/takamatsu\\_kogeiweek/](https://www.instagram.com/takamatsu_kogeiweek/)

イベント・ワークショップの募集、参加店舗・施設の紹介

大学生による取材、綾委員が取りまとめて投稿。

投稿件数：71件

Instagram フォロワー数：647人（9/16）→853人（11/8）（206増）

Facebook フォロワー数：65人（9/16）→89人（11/8）（24増）

③ホームページ更新 <https://takamatsu-kogeiweek.com>

店舗・イベント情報・モデルコースの追加修正等

トップページでイラストマップのダウンロード、キックオフイベント動画の表示

Movie ページの作成

ユーザー 2,523 人 (令和2年度2,846人、令和元年度2,803人)

総ページビュー数 20,617 回 (令和2年度18,367回、令和元年度13,435回)

④ポスターの作成

発行枚数：500 枚

配布先：各掲載店舗、市関連施設、教育機関、駅、空港、宿泊施設等

⑤カードの作成

発行枚数：10,000 枚

配布先：各掲載店舗、市関連施設、教育機関、駅、空港、宿泊施設等

⑥イラストマップの修正

店舗追加修正等

印刷無し・ホームページからのダウンロードのみ

⑦参加店舗・施設によるイベント・ワークショップの開催

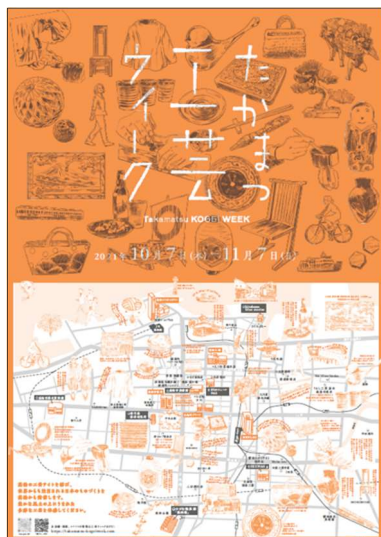
参加・協力してくれた施設・店舗・イベント数

・・・49 か所・イベント (令和2年度41、令和元年度42、平成30年度11)

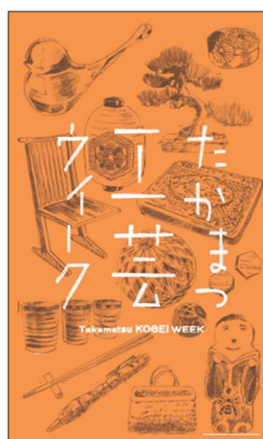
参加者数等 (ワークショップへの参加者、店舗・施設・イベント等への来場者)

・・・延べ64,121 人 (令和2年度79,986人、令和元年度23,623人、平成30年度9,802人)

ポスター



カード (表)



カード (裏)

